

経済産業省と日本ボランティアチェーン協会が共同開催した「小売業の生産性向上 成果報告会」にて、先行事例紹介としてコスモス・ベリーズの取組みを報告しました。当日は経済産業省から橋爪課長補佐、内閣府から木藤統轄官付が来賓として参加され、コスモス・ベリーズの他、4社からモデル事業の紹介が行われました。
 (実施日)2017年3月16日
 (場所)芝パークホテル



↑佐分部長が発表 ↓進行は野村総合研究所



生産性向上の取組み

2017年 3月 16日
 コスモス・ベリーズ株式会社

*工場管理の概念である管理看板(6S)を実践して、生産性向上を課題付けさせる。

◆取組み項目

- ①業務フローの作成による改善課題の抽出 ... FAX受付業務のシステム化
- ②6Sの実践による業務の整理整頓 ... 保管庫・倉庫の整理整頓
- ③稼働見える化の検討による改善課題の抽出 ... 経路としての業務改善



会社設立10年を経て、加盟店の増大や業務の質と量が増える中、本部業務の見直しの良い機会となった！

②人的余力の創出(次なる成長事業に人材投入)

改善前状況	改善後状況
1 店ごとの取組及び実施進捗の把握業務 現場業務フロー図を作成・管理	加盟店が管理している業務現場に活用すれば大幅な業務アップ 従来の業務システムに加えシステムも併用・管理
2 現場担当者との関係性向上 現場業務フローの見直し	共通 (P-4)
3 店舗の区分けを行い、「IT導入」と「IT導入」以外の業務スタート(18月16日) 「仕事のやり方」を刷新	「コールセンター」のIT導入(18月16日) 店舗業務のIT導入(18月16日) 「IT導入」以外の業務スタート(18月16日) 2/25の全額人員を刷新し、販売部門から新業務部門へシフト

2016年1月から10月において計14回の活動(PJ会議8回、加盟店視察3回、報告会等3回)を行い、システムの導入も含め全社の業務効率化に大きく寄与しました。
 引き続き「加盟店とCB本部業務の生産性向上」、「社内基幹システムの刷新」、「コールセンターの対応力アップ」等に取り組んでいきます。